

No.234

おおの

2026.1.25

# 議会だより

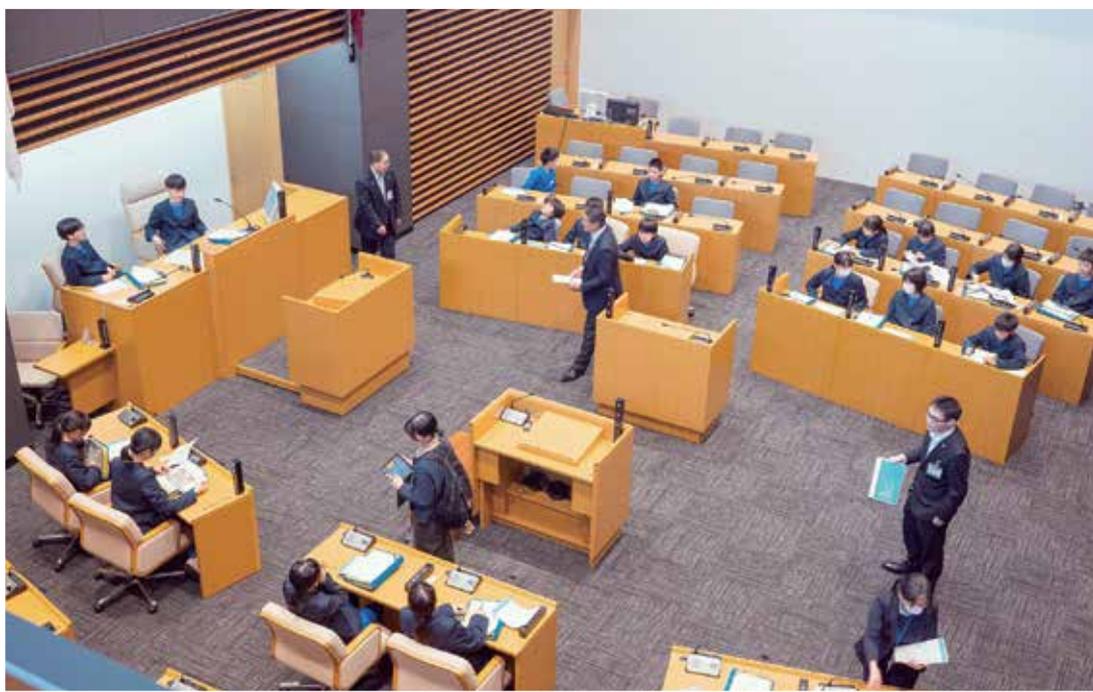
今回の定例会

3月

6月

9月

12月



上庄小学校 議場見学

※議場見学を受け入れています。事前に議会事務局へご相談ください。

- P 2・3 12月定例会の概要
- P 4～9 一般質問の概要
- P 10・11 常任委員会審査報告
- P 12・13 特別委員会報告
- P 14 議案等の審議結果

バックナンバーと音声データ  
あります

 /@OnoCityCouncil  
大野市議会チャンネル  
登録をお願いします

おおのぎかいだより



# 12月 定例会の概要

第447回定例会が11月21日から12月16日までの26日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、令和7年度一般会計及び各会計の補正予算、条例の制定・改正・廃止、人事案件など全27議案のほか、9月定例会から継続審査となっていた令和6年度決算認定議案4件、市会案2件、陳情2件について審議しました。審議結果は、14分のとおりです。

## 議長に廣田氏

定例会初日に高田育昌議長の辞職に伴う選挙を行い、廣田憲徳氏を第49代議長に選出しました。

また、予算特別委員会と中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会の委員の補充を行いました。

**廣田 憲徳 議長**

(3期目、53歳)



### 補正予算の議案

議案第123号 令和7年度大野市一般会計補正予算(第4号)案  
議案第140号 令和7年度大野市一般会計補正予算(第5号)案

補正前の予算額 → 補正額(増額) → 補正後の予算額  
206億3308万円 → 5億4649万円 → 211億7957万円

可決

### 条例の改正・廃止

#### 大野市ファミリーリゾート休養施設設置条例の一部を改正する条例案

うらら館の利用時間の短縮及び休館日の追加などに伴い所用の改正を行いました。

#### 大野市文化会館設置条例を廃止する条例案

文化会館を廃止するため条例を廃止しました。なお、くらし産業常任委員会では、文化会館の廃止について、市民へ丁寧の説明することを求める付帯決議<sup>1)</sup>を付しました。

1) 可決した議案に対し、意見、要望を表す決議のこと

可決

### 人事案件

#### 教育委員会委員の任命について

松田輝治氏(上野)を任命することに同意しました。

#### 公平委員会委員の選任について

脇本浩嗣氏(小矢戸)を選任することに同意しました。

同意

同意

### 市会案

#### 免税軽油制度の継続を求める意見書案

軽油引取税の課税免除特例措置について、令和9年度以降も継続することを求める意見書を政府関係機関に提出することとしました。

#### 議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

職責に対し適正な議員報酬等の額となるよう報酬等を増額する改正案を可決しました。

可決

可決

### その他議案

#### 指定管理者の指定について

真名川憩いの島及び大野市ゲートボール場、あつ宝んど、大野市特用林産物生産・加工施設、大野市麻那姫湖青少年旅行村、越前おおの結ステーション及び大野市水に関する学習研究施設駐車場、大野市都市公園の指定管理者を指定しました。

可決

### 陳情

#### 免税軽油制度の継続を求める陳情書

採択

#### 大野市文化会館の存続及び長寿命化を含む整備計画の検討を求める陳情

趣旨採択

# 令和6年度歳入歳出決算を認定

## 決算特別委員会の主な内容

### 【歳入】

市税全体の収納率は97.0%であるが、滞納繰越分の収納率が24.3%と依然として低い。税負担の公平性の原則からも、引き続き、収納率の向上に努められたい。

### 【結の故郷奨学金基金の有効活用】

結の故郷奨学金は、令和元年度で新規の募集を終了している。大野への帰郷を促進するために基金が有効に活用されるよう、全庁で活用方法を検討されたい。

### 【木造住宅の耐震化促進】

住宅の耐震診断や耐震改修に対する支援制度の積極的なPRにより、安全で安心な住環境の整備を促進されたい。

### 【スポーツ施設の熱中症対策】

施設の空調未整備箇所の解消など、屋内外のスポーツ施設における熱中症予防対策を実施されたい。

### 【創業の実現化】

結のビジネスプランコンテストは、新たなビ

ジネス創出を目的としている事業であるので、特にコンテスト受賞者への創業につながる働き掛けが必要である。

### 令和6年度 大野市各会計決算総括表

#### ●一般会計

区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	248億3501万円	239億2888万円

#### ●特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	32億1298万円	31億8467万円
和泉診療所事業	7986万円	7986万円
後期高齢者医療	5億7255万円	5億7154万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	41億314万円	41億314万円
介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1224万円	1222万円

#### ●企業会計

区分	収益的収支 (事業運営と施設管理)		資本的収支 (施設整備など)	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	1億3034万円	1億2240万円	3954万円	2億3717万円
簡易水道事業	1億5660万円	1億4483万円	4486万円	4594万円
下水道事業	10億7659万円	10億4388万円	8億7820万円	12億1678万円

※資本的収支の支出に対する収入の不足分は留保資金などで補てん

## 議会議員の議員報酬等を見直し

職責に対し適正な議員報酬等の額にし、議員のなり手不足の解消を図ることなどを目的に、議員報酬の月額等を見直しました。

- ・議長報酬 448,000円 → 478,000円 (R8.4.1施行)
- ・副議長報酬 377,000円 → 407,000円 ( " )
- ・議員報酬 357,000円 → 387,000円 ( " )
- ・常任委員会委員長報酬を新たに設定  
(議員報酬に1万円加算した額)  
→ 397,000円 (R9.2.21施行)



## 議会傍聴をお待ちしています

3階の議会事務局で受け付けをしてください。

### 次回、3月定例会は

2月20日(金)~3月24日(火)に開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
					2/20 本会議10:00~ (開会) 特別委員会(予算) ●ライブ配信	21
22	23 天皇誕生日	24 議案調査	25 議案調査	26 議案調査	27 議案調査	28
3/1	2 本会議10:00~ (代表質問) 👍 POINT ●ライブ配信	3 本会議10:00~ (一般質問) 👍 POINT ●ライブ配信	4 本会議10:00~ (一般質問) 👍 POINT ●ライブ配信	5 常任委員会 (くらし産業) 特別委員会 (予算分科会)	6 常任委員会(くらし産業) 特別委員会(予算分科会)	7
8	9 常任委員会 (総文厚生) 特別委員会 (予算分科会)	10 常任委員会 (総文厚生) 特別委員会 (予算分科会)	11 委員会予備日	12 委員会予備日	13 特別委員会 (中部縦貫自動車道等交通対策) (こども政策・公共施設等改革)	14
15	16 特別委員会(予算)	17 委員会予備日	18 委員会予備日	19 委員会予備日	20 春分の日	21
22	23 委員会予備日	24 本会議10:00~ (閉会) ●ライブ配信	<b>本会議をライブ配信します</b> /@OnoCityCouncil 			

※日程や会議時間は、予定のため変更になる場合があります。

政治家が選挙区内の人にお金や物などを贈ることは禁止されています。



動画でチェック



《質問項目》  
①市長の政治姿勢について

かえりやま としあき  
**帰山 寿章**議員

大野市民の会

**市長の政治姿勢について**

**問** これまでの2期約8年間をどのような思いでかじ取りを行ってきたのか。

**答** 就任以来、本市の最大の課題は人口減少対策であると考え、「自然と人がともに生きていく持続可能な地域づくり」をモットーに、社会情勢の変化や時代の要請に柔軟に対応する行政運営を行ってきた。

**問** 任期満了に伴う次期市長選挙に向けた考えは。

**答** 人口減少社会に対応しつつ、持続可能な住み続けられる幸せな大野市をみんなで作っていくために、これまで取り組んできた施策に新たな挑戦を加えつつ、継続的に推進いたしたく、引き続き、大野市政の運営を担わせていただきたい。



動画でチェック



《質問項目》  
①市民生活の「安全」をどう担保するか  
②「公共施設の効率化」と「幸福度（ウェルビーイング）」の両立  
③孤立する子育てを防ぐプッシュ型支援への転換  
④今後の市政運営

ささやま あきかず  
**笹山 晃一**議員

大野市民の会

**市民生活の安全をどう担保するか**

**問** クマ被害防止へ、AI監視や緩衝帯整備など抜本的な予算配分と新技術導入が必要では。

**答** 春季銃猟<sup>あり</sup>や檻、ドローン導入など予算編成で十分議論する。防災無線の活用も検討中である。

**公共施設の効率化と幸福度**

**問** 公共施設の効率化で生じた余力は、移動支援など別の市民サービスへ還元すべき。

**答** 幸福度調査等の結果を踏まえ、施策の改善や新たな展開につなげたい。

**孤立する子育てを防ぐプッシュ型支援へ**

**問** 子育て支援は申請待ちでなく、プッシュ型事業への転換を求める。

**答** 届ける支援は重要と認識している。気軽に相談できる環境づくりに取り組む。

《質問項目》

①市長の政治姿勢について—具体的にどのような大野市を目指しているのか—



動画でチェック

うめばやし あつこ  
**梅林 厚子**議員

もえぎ会



**真名川の流量が地下水にどう影響しているか**

**問** 歴代の首長は真名川の流量増量に不断の努力をしてきた。石山市長はこの件に関して国等に要望をしたことがあるか。

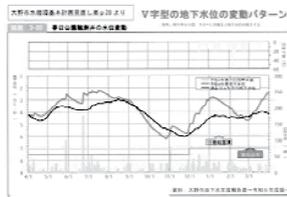
**答** 私としてはしたことがない。

**問** 昭和50年代の湧水（わきみず）が現在はほとんどない。また、年間の地下水位が9月から翌1月まで低下し、何十年もV字の

変動パターンを示している。これらの要因が真名川の流量と関係があるのか否か「真名川の通水実験」の要望をしていただきたいが。

**答** 情報を整理した上で良い方法を探っていきたい。

S 50年代の湧水



変動グラフ

《質問項目》

①中部縦貫自動車道開通を見据えた施策について  
②指定管理者制度について  
③農業支援について  
④六呂師高原の水源調査について



動画でチェック

いのしま きよぶみ  
**猪嶋 清文**議員

大野市民の会



**中部縦貫自動車道開通に向けて**

**問** 道の駅「越前おおの荒島の郷」におけるガソリンスタンドの誘致状況は。

**答** 県外事業者へも状況を説明し誘致活動を行っている。

**問** 郡上市との協力体制は。

**答** 各種イベントを通じて情報交換し、開通に向けて機運を高めていきたい。

**農業支援について**

**問** 小規模農業者への対応は。

**答** 中小規模農業者へのアンケート結果を踏まえた農業ビジョンを策定し、本市の農業に必要な支援策を検討していく。

**指定管理者制度について**

**問** 外部評価委員会の実施状況は。

**答** 来年度からの導入を目指している。



動画でチェック



《質問項目》

- ①文化活動について
- ②有終南小学校グラウンドの芝生化整備について
- ③和泉デイサービスセンター廃止と今後の介護保険サービスについて

のむら まさと

## 野村 勝人議員

無会派

### 文化活動について

**問** 文化会館を閉館するとしているが地域文化振興の必要性・活動の場をどのように考えるか。

**答** 文化は人々の心を潤し、地域の誇りを育む基盤、楽しさや感動、精神的な安らぎ、生きる喜びをもたらすものである。文化の力は市民の暮らしに欠くことのできないもので、人生を豊かにする重要な要素

であると考えている。過去3年間で大ホールを利用した市内の50団体のうち29団体から、閉館後はめいりん講堂での活動を予定していると回答があった。既存施設の利用開始に向けて、これまでの使用感の確認や調査を踏まえ、必要な備品等について整備していきたい。閉館後は、改めて既存施設の利用状況やご意見を踏まえ必要に応じた対応を検討していきたい。



動画でチェック



《質問項目》

- ①リチウムイオン電池等の安全な回収について
- ②大規模災害時の避難所環境整備と在宅避難への対応について
- ③感震ブレーカーの普及促進について

いとう ゆきえ

## 伊東 由起恵議員

市政会

### リチウムイオン電池等の拠点回収

**問** 使用済みとなったリチウムイオン電池やリチウムイオン電池を内蔵する小型機器について、火災事故の防止に向け、行政による拠点回収の拡充が必要と考えるが、市の見解は。

**答** 令和8年4月から市役所と和泉地域交流センターに拠点を設け、回収する。

### 感震ブレーカーの普及と啓発

**問** 地震時、揺れを感知し自動的に電気を遮断する感震ブレーカーは、通電火災を防ぐ有効な対策であるが、市民への感震ブレーカーの普及啓発について市の見解は。

**答** 感震ブレーカーについては、広報おおの、市ホームページで紹介している。今後も、防災講話や地区の消火訓練等でその存在や効果を周知するとともに、普及啓発に努める。

## 《質問項目》

- ①安心して子育てできる教育環境の改善に向けて
- ②市民生活を支える産業の振興と投資促進に向けて



動画でチェック

はやし よりかず

## 林 順和議員

市政会



### 旧上庄中学校の使用を許可しない理由は

**問** スポーツ少年団や団体等が利用している旧上庄中学校について、令和8年度から許可しない方針とした理由は。市長自らが発表したと聞いたメンバーから、不安の声がある。

**答** 文部科学省の廃校プロジェクトに登録しており数件の問い合わせはあるが、具体的に決まっているものはない。地区からの活用策提案はなく、体育館は他の社会

体育施設に空きがあるため、活動場所の変更が可能である。

### 2月、3月に物価高対策の実施を

**問** 物価高対策は2月、3月の支出が増えるタイミングに間に合うように検討を。

**答** 市民生活や地域経済の下支えの観点から、少しでも早く取り組んでいく。

## 《質問項目》

- ①市役所の組織経営について
- ②公の施設の管理運営について
- ③ふるさと納税について



動画でチェック

きどや やよみ

## 木戸屋八代実議員

もえぎ会



### 市役所の組織運営について

**問** 市長は市役所の組織力を向上させるために、どのような点に重点を置いてきたのか。

**答** 就任当初より次の三つ、基本あつての応用、他流試合、仲間づくりを職員に伝えてきた。今後も、私らしくしなやかで力強く、きめ細やかで優しいリーダーシップを発揮して、市役所全体の組織力向上に努めていく。

### 公の施設の管理運営について

**問** 公の施設の管理運営方式について、評価と成果の分析はどのように行っているのか。

**答** 公の施設の管理運営は、指定管理者制度、包括的民間委託、業務委託、直営の四つの方式がある。指定管理者制度の評価と分析は、大野市指定管理者制度モニタリング指針に基づき、年度終了時に実施している。



動画でチェック



《質問項目》

- ①観光客の宿泊・滞在型観光の促進と施設修繕等の支援について
- ②大野市文化会館の廃止方針・長寿命化検討不足・市民合意について

きしもと かずとし

# 岸本 一敏議員

大野市民の会

## 文化会館廃止方針と市民合意欠如について

**問** 起債期限よりも、地元説明会や市民説明会を実施し、市民合意形成が優先されるべきではないのか。

**答** 市民説明を十分に果たした。その上で、解体や起債の話が出ている。住民説明会は必要であり、年内をめどに開催したい。

**問** 文化会館をなくすなら、代替施設を探しフォローする、これが住民自治ではないか。

**答** 住民の意見を聞きながら、一番良い代替施設となるように考えていく。

**問** 補正予算案、廃止条例案が可決された場合、解体スケジュールは。

**答** 令和8年度中の解体完了を目指す。

**問** 文化会館跡地への民間事業者の公募は解体の前か後か。

**答** 詳細な時期については未定。



動画でチェック



《質問項目》

- ①認可地縁団体について
- ②パブリックコメントについて
- ③越前おおの結ステーション駐車場の有料化について

しらすき たかゆき

# 白崎 貴之議員

市政会

## 市内の認可地縁団体数

**問** 市長の認可を受けた認可地縁団体は市内にどれくらいあるのか。

**答** 本市の団体は61団体。

## 電子申請によるパブリックコメント

**問** 提出方法は、電子申請などはできないか。

**答** 電子申請による受け付けは、市民には時間や場所を選ばず意見を提出することができ、市としても提出された意見の集約が簡素化するなど、メリットがあり、提出方法の拡充策の一つとして、導入に向け検討したい。

## 駐車場有料化試験運用の成果

**問** 試験運用で得られた成果は。

**答** 4時間以上駐車する利用者が7割あったが、試験運用後は1割まで減少し、長時間駐車抑制効果が確認できた。

## 《質問項目》

①市長の政治姿勢について



動画でチェック

たかおか かずゆき

**高岡 和行**議員

もえぎ会

**市長の政治姿勢****問** 人口減少・少子化対策の現状と検証は。**答** 令和7年10月1日で2万8千人余り。出生数は98人と大きく減っている。**問** 行財政改革での経常収支比率はどうか。**答** 令和6年度末で94%とかなり硬直した状態。**問** 令和5年11月に公表した旧藤生小学校グラウンドのホテルはいつ建つのか。**答** 企業へ出向いて状況を説明したり伺ったりしている。**問** 過年度無償譲渡したホテルでの地元雇用は。**答** 日本人は1人か2人で、残りは外国人である。**問** 市職員の早期退職や中途退職が多い。**答** 新しいご自分の道を選ばれた。**問** 議員の顔を認識しない職員がいる。**答** 職員の認識が正しくなかったことについてお詫び申し上げます。

## 《質問項目》

①文化会館の代替施設について



動画でチェック

やまざき としあき

**山崎 利昭**議員

清風会

**大野市文化会館に係る陳情6号について****問** 市長は、地域住民や関係団体に理解を得るような配慮や説明をしてきたのか。**答** 文化会館の在り方については約1年半をかけて検討委員会において協議され、多様な視点や市民の思いが反映されていると認識している。利用団体との連絡や地元地区への説明など、文化会館の閉館に向けて丁寧に説明を重ねており、一定の理解を

得ていると捉えている。

**問** 市長自らが出向いての説明がないことで、納得いただけずに陳情が出てきたと考えるがいかがか。**答** 方針のことについては、市の全体のこととして記者会見で説明を行っている。地域へ突然伺うと、何が起きたのかとなるため、粛々と職員から伝えている。

## くらし産業常任委員会 審査報告

(◎伊東、○笹山、岸本、林、廣瀬、野村、堀田、梅林)

### 【市全域の温室効果ガス排出・吸収量】

#### ◎市の説明

令和4年度の実質排出量は3年度と比較して11.3%増加している。主な要因として、経済回復による産業部門の排出量増加が影響している。

#### ◎委員の意見

市内民間事業者の省エネ設備導入支援など実効性のある取り組みにより、官民一体となって、温室効果ガスの排出・吸収量が向上するように取り組まれない。

### 【大野市文化会館設置条例を廃止する条例案】

#### ◎市の説明

本年5月に策定した文化活動発表・鑑賞の場に関する市の方針に基づき、令和8年5月31日をもって文化会館を閉館する。

また、地方交付税措置のある地方債「公共施設等適正管理推進事業債」を活用し、解体工事に係る財政負担の軽減を図るため、本地方債が活用できる令和8年度内に解体工事を実施する。

#### ◎付帯決議

次のことについて、市民へ丁寧に説明することを求める付帯決議を付する。

- 1 文化会館廃止の方針を決定するまでの経緯と判断理由
- 2 文化会館代替施設の利便性の向上策
- 3 文化会館閉館後の地域活動や防災に関する対応



大野市文化会館に関する説明会（文化会館 鳳凰の間）

### 文化会館の廃止に係る申し入れ

昨年12月20日に上記付帯決議に沿った市民説明会が開催されましたが、多くの課題が認められることから、1月5日に議会から市長に対し、市民から問われた課題への対応を求める申入書を提出しました。

申入書の内容は市議会ホームページをご確認ください。



## くらし産業常任委員会 意見交換会

10月27日、本市の文化振興について、文化活動団体の代表者とくらし産業常任委員会で意見交換をしました。

参加者からは、「音楽や美術など、さまざまな文化に触れて体験する場をイベント等で提供することで、若者などが文化の良さを実感できる」との意見や、文化活動の現状と課題、後継者育成の展望、今後の活動場所や発

表の場についての不安や要望が述べられました。



## 総文厚生常任委員会 審査報告

(◎帰山、○白崎、猪嶋、木戸屋、山崎、高田、廣田、高岡)

### 【大野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案】

#### ◎市の説明

全てのこどもの育ちを応援するため、就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育所等を利用できる新たなサービスである大野市乳児等通園支援事業（通称：こども誰でも通園制度）が令和8年4月から全国一斉に開始され、市内の事業実施者を認可するために必要となる設備や運営に関する基準を定める。



### 【20歳のつどいの開催時期】

#### ◎委員の質問

20歳のつどい開催時期の希望調査結果はどうであったのか。

#### ◎市の答弁

令和6年度参加者へのアンケートでは、1月開催を希望する人が53.3％、3月開催を希望する人が46.7％という結果であった。

#### ◎委員の意見

20歳のつどいの開催時期については、これから20歳となる方に対しても、アンケート調査等を実施するとよいのではないかと考える。

### 【職員の勤務体制】

#### ◎委員の意見

近年、公務員を希望する若者が少ないことや、働き方の多様性により職員の早期退職があることで、優秀な人材の確保が課題となっている。職員にとって働きやすい・働き続けたいと思える職場環境への配慮を求める。

### 総文厚生常任委員会 意見交換会

10月29日、第2層協議体における地域福祉活動の状況等について、各地区の第2層協議体団体と総文厚生常任委員会で意見交換をしました。

各団体では、支援を担う人材の確保や、事業実施に係る費用の確保に課題がある中でも、地域福祉向上のため、高齢者の移動支援や居場所づくりなど、地区の実情に寄

り添った活動を行っているとの報告がありました。



### 請願書・陳情書の提出方法のお知らせ



どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。

定例会開会日の11日前の午後5時まで提出すると、その定例会で審査します。その後受理した請願書・陳情書は次の定例会で審査します。



詳しくは市議会ホームページを確認してください。

## 中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会報告

◎林、○猪嶋、帰山、山崎、高田、梅林、高岡

### 【バス・タクシーの運転手確保の取り組み】

#### ◎市の説明

9月にバスの運転体験会を県バス協会との連携により開催し、11人の参加があった。タクシー事業者対象の第二種免許取得支援については、本年度はまだ活用がない。

#### ◎委員の意見

バスの運転手確保は積極的に取り組まれない。また、第二種免許取得支援はタクシー事業者だけでなく、市民にも周知されたい。



## こども政策・公共施設等改革特別委員会報告

◎笹山、○白崎、岸本、木戸屋、廣瀬、伊東、野村

### 【大野ですくすく子育て応援パッケージ中間実績】

#### ◎委員の質問

令和8年3月に、市内で病後児保育が再開されるが、病児保育の再開に向けた今後の検討は。

#### ◎市の答弁

病児保育の実施には安全対策や医師の常駐が必要などの要件があり、現時点では受け皿となる事業者がない。今後は、医療機関のご理解を求めながら、病気等で子の看護が必要な時に保護者が仕事を休める環境づくりの啓発など、総合的に取り組んでいきたい。

## 行政視察レポート

### 中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会

11月11日・12日に、岐阜県美濃加茂市、郡上市を訪問し、行政視察を実施しました。

美濃加茂市では、次期交通計画（R8～R12）策定に向けて地域懇談会を実施し、交通空白地や地域課題の把握をしています。

郡上市では、自然環境やアウトドア体験を核としたエリアブランディングにより「郡上＝アウトドア体験の町」として多くの人が高規格道路を使って訪れるように情報発信しています。

### こども政策・公共施設等改革特別委員会

10月30日・31日に、富山県射水市、岐阜県高山市を訪問し、行政視察を実施しました。

射水市では、市内事業者が保育園跡地を活用し食事付き学生アパートを建設中であり、食堂では高齢者も利用できる子ども食堂も行うとのことでした。

高山市では、市が若者による地域活性化等の活動拠点事務所として整備した町家「村半（むらはん）」で、活動支援事業と施設活用状況の説明を受けた後、施設の見学をしました。

交流  
事業

### 郡上市議会と交流を深める

11月12日に、友好交流協定を締結している郡上市議会と「中部縦貫自動車道の開通を見据えた両市の交流と地域活性について」をテーマに、両市の観光資源を生かした周遊ルートの開発や特産品の相互流通の拡大などで意見を交わし、今後の両市の連携につながる交流会となりました。



## 予算特別委員会報告

### 総括質疑

(◎山崎、○林、議長を除く議員)

### 【文化会館管理運営経費】

#### ◎委員の質問

補正予算案に計上される文化会館管理運営経費の委託料1,031万2,000円のうち、722万2,000円を繰越明許費とする理由は、

#### ◎市の説明

補正予算案が可決された場合には、令和8年1月に実施設計業務等の委託業務を発注し、6月頃の完了を予定しているため、市の設計測量等業務委託契約約款に基づき、委託料の3割に当たる309万円を請負業者への前払金に予定し、残る722万2,000円を繰越明許費とした。

### 【農業関係補助】

#### ◎市の説明

国・県事業による農業関係の補助対象は、主に集落営農組織、認定農業者、認定新規就農者などである。

#### ◎委員の意見

次期「越前おおの型 食・農業・農村ビ

ジョン」の改訂において、市内の小・中規模農業者を支援するため、農業者の声を聞き、市独自の補助事業を検討されたい。



農業用ドローン

### 【スクールバス運行管理業務】

#### ◎委員の質問

令和8年度から予定される有終南小学校と富田小学校のスクールバス運行管理業務の違いは、

#### ◎市の説明

富田小学校は、市がマイクロバスを購入し運行を委託する方式であり、有終南小学校は、中型バスを借り上げて運行する方式である。

## くらし産業分科会

(◎伊東、○笹山、岸本、林、廣瀬、野村、堀田、梅林)

### 【市内除雪体制】

#### ◎市の説明

本年度は、市保有の除雪車6台と委託業者の除雪車247台で車道約382キロメートル、歩道約53キロメートル、その他各公共施設で除雪を実施する。また、本年度もGPSにより除雪車の運行状況を把握し、主要な市道の除雪状況をウェブ上で公開し市民への情報提供を行う。

#### ◎委員の質問

委託事業者数は、昨年度から変更があったか。

#### ◎市の答弁

1者増えて66者となった。



除雪車

## 総文厚生分科会

(◎帰山、○白崎、猪嶋、木戸屋、山崎、高田、廣田、高岡)

### 【全国大会等出場費補助】

#### ◎市の説明

全国大会などに出場する団体または個人に対して出場に要する経費の補助事業で、今後もスキー競技などの申請が見込まれ、当初予算より支出が上回る見込みである。

#### ◎委員の質問

大野市のチームに所属する他市町の児童・生徒が全国大会に出場する場合も対象とする考えはないのか。

#### ◎市の答弁

今後検討したい。



スキー競技

# 令和7年12月第447回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で認定・可決・同意・採択とした議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名	
118	認定	令和6年度大野市歳入歳出決算認定について	136	可決	指定管理者の指定について(大野市特用林産物生産・加工施設)	
119	認定	令和6年度大野市水道事業会計の決算認定について	137	可決	指定管理者の指定について(大野市麻那姫湖青少年旅行村)	
120	認定	令和6年度大野市簡易水道事業会計の決算認定について	138	可決	指定管理者の指定について(越前おおの結ステーション及び大野市水に関する学習研究施設)	
121	認定	令和6年度大野市下水道事業会計の決算認定について	139	可決	指定管理者の指定について(大野市都市公園)	
124	可決	令和7年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)案	141	可決	令和7年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)案	
125	可決	令和7年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)案	142	可決	令和7年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第1号)案	
126	可決	令和7年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)案	143	可決	令和7年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)案	
127	可決	大野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案	144	可決	令和7年度大野市水道事業会計補正予算(第2号)案	
128	可決	大野市議会議員及び大野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例案	145	可決	令和7年度大野市簡易水道事業会計補正予算(第2号)案	
129	可決	越前おおの結ステーション設置条例の全部を改正する条例案	146	可決	令和7年度大野市下水道事業会計補正予算(第2号)案	
130	可決	大野市ファミリーリゾート休養施設設置条例の一部を改正する条例案	148	同意	教育委員会委員の任命について	
131	可決	大野市火災予防条例の一部を改正する条例案	149	同意	公平委員会委員の選任について	
132	可決	大野市水に関する学習研究施設設置条例の一部を改正する条例案	陳情	5	採択	免税軽油制度の継続を求める陳情書
134	可決	指定管理者の指定について(大野市体育施設)	市会案	4	可決	免税軽油制度の継続を求める意見書案
135	可決	指定管理者の指定について(大野市健康保養施設)				

## 各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名	議員名(議席番号順)	議決結果	笹山	帰山	猪嶋	岸本	白崎	木戸屋	林	廣瀬	伊東	山崎	野村	高田	廣田	堀田	梅林	高岡	
市 長 提 出 議 案	123 令和7年度大野市一般会計補正予算(第4号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	133 大野市文化会館設置条例を廃止する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	140 令和7年度大野市一般会計補正予算(第5号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	147 大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳 情 案	6 大野市文化会館の存続及び長寿命化を含む整備計画の検討を求める陳情	趣旨採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	賛	○	賛	賛	賛
	5 議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長(廣田憲徳)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×、陳情の趣旨を趣旨採択とすることに賛成とする場合「賛」、趣旨採択とすることを否とする場合「否」

## 行政視察レポート

### 議会運営委員会

10月21日・22日に兵庫県加東市議会、丹波市議会の議会運営を視察しました。

加東市議会では、議員による政策立案・政策提案の機能を高めるため「政策立案等に関するガイドライン」を策定して、各議員の政策立案を意識した活動を促しています。

丹波市議会では、各地区で議会主催による意見交換会(地域出張スタイル)と、市民

からの申し出による市民側主体の意見交換会(井戸端スタイル)を行い、市民の声の把握と市政への反映に努めています。



加東市議会での研修

## 編集後記

「より伝わる議会だよりを」と、8月に他自治体へ視察に伺いました。そこには3カ月もかけて丁寧に作られた、手に取った瞬間に熱意が伝わる紙面がありました。本市は情報の鮮度を大切に、2カ月で発行しています。移ろいの速い時代、鮮度を取るか、デザインを練るか。悩みは尽きませんが、根底にあるのは「市民と議会を『結』ぶ」という想いです。大野の今を、熱いうちに、かつ丁寧に。皆さまの心に届く最適な形を追求し続けます。

(座長 笹山晃一)



市議会HP

議会だより編集委員会  
座長 笹山 晃一  
委員 白崎 貴之  
山崎 利昭  
梅林 厚子